

**小川絵梨子芸術監督、任期最後のシリーズ企画「いま、ここに——」の最後の作品
ノゾエ征爾の新作書下ろしを青年座の気鋭・金澤菜乃英が演出！**

2025/2026シーズン いま、ここに——[3]

りんごが落ちる

息詰まり沈黙した登場人物たちは、人生のセリフを取り戻せるか？

主人公の舞台俳優役に浜田学！全キャスト＆公演詳細発表！



宮川安利

梅舟惟永

浜田 学

山口森広

大西多摩恵

小川絵梨子芸術監督、任期最後のシリーズ企画「いま、ここに——」。変わり続ける世界の中で、それでも人はここにいる。ここに、居続ける。いま、ここに生きることと、小さな希望を見いだしていく3つの物語を2026年4月より三ヶ月連続で上演いたします。このシリーズ企画の最後を飾るのは、2026年6月13日(土)より開幕する、ノゾエ征爾の新作書下ろし『りんごが落ちる』です。

自分の前に立ちはだかる「乗り越えがたい大きな壁」や、他者との断絶感、弱さを打ち明けられない葛藤など、現代を生きる誰もが抱える心の痛み。そんな痛みなどモノともしないタフさに憧れながらも、生きづらさを感じている人々を、「recover」や「cure」をキーワードに、ノゾエ征爾の誠実でユーモアあふれる筆致で、愛情いっぱいに描き出します。本作の演出を担うのは、青年座の気鋭の演出家・金澤菜乃英。新国立劇場には、今作が初登場となります。

物語の主人公は、久々の大舞台で主役を射止めながらも、初日の舞台上で突如セリフを忘れ、ラスト10分を沈黙劇にしてしまった舞台俳優・田端光太郎。その日、一人台所に立つ彼の元へ、舞台関係者や隣人など、それぞれの事情を抱えた「息が詰まっている」人々が、次々と訪ねてきて、彼らのズレた思いやりと身勝手が錯綜する。それぞれの人生で止まっているセリフたちは、果たして再び動き出すのか——。

この度、出演者が発表となりました！主人公のベテラン舞台俳優の田端光太郎を演じるのは、浜田 学。田端の学生時代の後輩・猿橋には、山口森広。田端が現在出演中の舞台の演出家・鴨川には、梅舟惟永、田端の住む家の隣人・鶴野には大西多摩恵。そして田端の妹・夢子は、宮川安利が演じます。

ぜひ貴媒体にて本情報のお取り上げをご検討いただけますよう、どうぞよろしくお願ひ申し上げます。

＜公演概要＞

いま、ここに——[3]『りんごが落ちる』

【公演日程】2026年6月13日(土)～28日(日)

【会場】新国立劇場 小劇場

【作】ノゾエ征爾 【演出】金澤菜乃英

【出演】浜田 学、山口森広、梅舟惟永、宮川安利、大西多摩恵

【芸術監督】小川絵梨子 【主催】新国立劇場

【一般発売日】2026年4月12日(日)10:00～

【チケット料金(税込)】

A席 7,700円／B席 3,300円／Z席(当日)1,650円

【公式ウェブサイト】※12/19(金)18:00に更新

<https://www.nntt.jac.go.jp/play/nozoeiji-newplay/>

ものがたり

台所に一人立つ男。ベテラン舞台俳優の田端光太郎。

1時間前、彼は舞台上にいた。近年仕事が減る中、久々に舞台の主役が巡ってきた。

迎えた初日。セリフが止まった。ラスト10分が沈黙劇となった。

田端は今、台所に立ち、料理をしている。二人暮らしの小学生の息子は合宿で不在だ。

そこへ、学生時代の後輩・猿橋が。この舞台の若い演出家・鴨川が。お隣の婦人・鶴野が。それぞれの事情で訪ねてくる。そして地元で働く妹・夢子からは、何度も気遣いの連絡がくる。

行き詰まり、息が詰まっているアンバランスな人々の、ズレた思いやりと身勝手が錯綜する。

田端は果たして、本当にセリフを忘れたのか？ 明日セリフは言えるのか？

それぞれの人生で止まっているセリフたちが動き出す。

りんごが落ちる。誰が拾う。

小川絵梨子演劇芸術監督 任期最後のシリーズ企画「いま、ここに——」

いま、ここに——[1]

『ガールズ＆ボーイズ』

【公演日程】2026年4月9日(木)～26日(日)

【会場】新国立劇場 小劇場

【作】デニス・ケリー 【翻訳】小田島創志 【演出】稻葉賀恵

【出演】真飛 聖／増岡裕子(Wキャスト)

いま、ここに——[2]

『エンドゲーム』[フルオーディション Vol.8]

【公演日程】2026年5月20日(水)～31日(日) プレビュー公演:2026年5月15日(金)～16日(土)

【会場】新国立劇場 小劇場

【作】サミュエル・ベケット 【翻訳】岡室美奈子 【演出】小川絵梨子

【出演】近江谷太朗、佐藤直子、田中英樹、中山求一郎

＜本件に関するお問い合わせ＞

制作部演劇 広報担当:杉田 TEL:03-5352-5738 FAX:03-5352-5737